

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 1日

事業所名: 障がい児者生活支援施設ポケットハウス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	2	祝日や土曜日はご利用者が多くなる為、活動等に合わせて対応	車椅子や歩行器で広く活動できる場所の確保・施設整備し廊下の棚等の撤去を検討
	2	職員の配置数は適切であるか	4	2	人員配置基準を満たしている。	非常勤看護師の確保
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	1	扉にトイレマーク等	部屋の敷居があり、車いすやバギーの走行に不自由さがある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3	3	空気清浄機や加湿器の設置・感染予防の消毒の徹底	大きく体を動かすサーキット運動では広い活動スペースがあればと思う。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	1		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	4		第三者委員会の設置等が早急な課題
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1	月に1回全体での研修会の実施	職員が受けたい研修内容等をアンケート等により検討し実施
適切な支援の指	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2		
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	1		職員によって支援方法にバラツキがないようにする。より具体的な支援内容の設定を心がける。
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	6	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	4	活動プログラムの内容を担当者と共に共有し、実施後の評価を話しあう	プログラムの目的や方法を職員が把握し、評価から改善につなげる
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0		
	16	(放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	2		休日や長期休暇時の支援内容は個々の療育支援を設定

提供	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	2	ボードにて活動内容と担当職員の指示	日により支援前の打ち合わせが難しいが、送迎者が申し送り内容を連絡することで事前に共有する
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	3	LINEや日誌にて情報共有	終業時に集まるのが難しい担当者が責任を持って情報伝達を行う。適切な内容を共有することが課題
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0		
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0		
	22	(放課後等デイサービスのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	6	0		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0		
	24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6	0	保健師の施設見学等の随時受付、その情報共有を行う	定期的に関係機関と連携を行い、同じ目標や支援方法の統一を行えるようにする
	25	(放課後等デイサービスのみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	0		
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6	0		
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	6	0	緊急時の指示書をいただき、備えている	
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	0	施設での様子を見学、情報共有を行っている。必要時はケース会議等に参加。	
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	0		
	30	(放課後等デイサービスのみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	0		
	31	(放課後等デイサービスのみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	0		
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	0		事業所連絡会に2か月に1回実施、参加している。各事業所での現状や課題を共有。研修会の開催もあり参加している。

	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	6	地域の公園等に課外活動の実施	コロナ禍により機会を設けることが難しいが感染状況をみながら実施できるよう検討していく
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6	0		
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0		
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2	4		障害特性による課題について共通理解を持ち、保護者の悩みや相談等が言いやすい環境作りや助言が行えるよう支援者の専門性を高めるよう努める
保護者への説明責任等	37	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0		
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	6	0		
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	昨年度より保護者面談の実施を行う	
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	0		年に2回で実施予定。保護者同士での連携支援に今後力を入れる必要あり
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0		
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	児童発達支援に関しては活動風景写真をデータでご家族に送っている	ポケットだよりにて事業所の活動や行事の様子を写真付きで発信している
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	6		コロナ禍により施設内行事の実施のみとなっている
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	0		おたよりやHP等で周知できるように検討する
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	0		
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0		
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	県の虐待研修への参加・年に2回伝達研修の実施	

	52 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	0		
--	---------------------------------------------------------------------------------------------	---	---	--	--

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。